

しあわせいかつ。

## 2020 会社案内

CORPORATE PROFILE



〒170-8401  
東京都豊島区東池袋5-51-12  
<https://www.maruetsu.co.jp/>



この会社案内は、FSC® 認証紙を使用し、植物油インクで印刷しています。

2020年4月発行



# すべての人の “しあわせいかつ。”のために

今より少し昔のこと。

それまで市場や専門店しか知らなかった人たちにとって

新鮮でいりどり豊かな食材が清潔な店内に整然と並ぶスーパーマーケットは、まさに夢と驚きの世界でした。

その感動をこの先の未来へとつなげるために――。

安全で安心、おいしくて便利という基本を守ることはもちろん、

訪れるだけで楽しい気分になって、うれしい驚きに出会える、

新しい時代のスーパーマーケットを目指して。

マルエツはこれからも

“しあわせいかつ。”を提案していきます。

## 新たなマルエツの創出に向けて

～マルエツは、2020年10月で創業75周年～

マルエツは、首都圏の1都5県に「マルエツ」「マルエツ プチ」「リンコス」などの屋号で約300店舗を展開する食品スーパーマーケットチェーンとして、毎日約65万人のお客さまにご利用いただいております。

私たちは、「安全でおいしい商品の提供を通じて、健康で豊かな食生活に貢献します」という経営理念を掲げ、新鮮で豊富な食材や、充実した美味しいお惣菜の提供をはじめ、お客さまの「笑顔のある食卓」につながる安全で安心な魅力ある商品づくりに取り組んでいます。また、日々の生活や食・健康をサポートする情報発信、旬の食材の紹介、メニューの想起につながる食体験などを通じて、お客さまに「新鮮な発見と感動」をしていただける売場づくりを推進しています。さらに、お客さまの声に耳を傾け、そのご要望にお応えすることで、「お客さまとの絆」を深め、お客さまに愛される店づくりに努めています。当社は「人」が最大の資産であると考え、従業員一人ひとりが達成感とやりがいを持って、生き生きと働ける風土づくりに取り組んでいます。

マルエツは、1945年10月に埼玉県浦和市（現さいたま市）で魚の販売を中心とした「魚悦商店」として創業し、おかげさまで2020年10月に75周年を迎えます。今後も新たなマルエツの創出に向けて日々努力を重ね、皆さまに愛され、地域になくはならない信頼される存在として100周年を迎えられるよう、努めてまいります。

これからも健康と食文化を担う企業として、皆さまの“しあわせいかつ。”の実現に向けて革新と挑戦を続けてまいります。

2020年4月



代表取締役会長  
上田 真  
Makoto Ueda



代表取締役社長  
古瀬 良多  
Ryota Furuse

### ブランドメッセージ

## しあわせいかつ。

「ふだんの暮らしの中で、ちょっぴり幸せな気持ちを感じていただきたい」という、マルエツがお客さまに伝えたい思いが詰まった言葉です。

### シンボルマークについて



「シンボルマーク」には、私たちがお客さまにお届けする、新鮮でいりどり豊かな「食」のイメージを「魚や野菜に見える形」と「生命感あふれた色調」で表現するとともに、「マルエツ」の頭文字である「M」を表現いたしました。

### 経営理念

#### 存在意義

私たちは、安全でおいしい商品の提供を通じて、健康で豊かな食生活に貢献します。

#### 経営姿勢

私たちは、常に革新と挑戦を続け、公正で誠実な企業であり続けます。

#### 行動規範

私たちは、地域のお客さまに愛される、笑顔と活気あふれる店づくりを推進します。

### お客さまへの約束

わたしたちが目指すもの

**お客さまの「笑顔のある食卓」を応援します。**

わたしたちがお届けするもの

**お客さまに「新鮮な発見と感動」をお届けします。**

わたしたちのこころ

**この街を愛し、「お客さまとの絆」を大切にします。**

# 1都5県に301店舗<sup>※</sup>を展開

※2020年4月末日現在

これからも、地域のお客さまのニーズにお応えしながら成長してまいります

マルエツは、それぞれの地域に最も適した商品やサービスをご提供するため、「マルエツ」「マルエツ プチ」「リンコス」などの店舗スタイルでお客さまをお迎えします。

## ■店舗業態



毎日楽しく便利にお買い物をしていただける、生鮮食品を中心としたスーパーマーケット。食料品の他、日用雑貨など、幅広く品揃えしています。



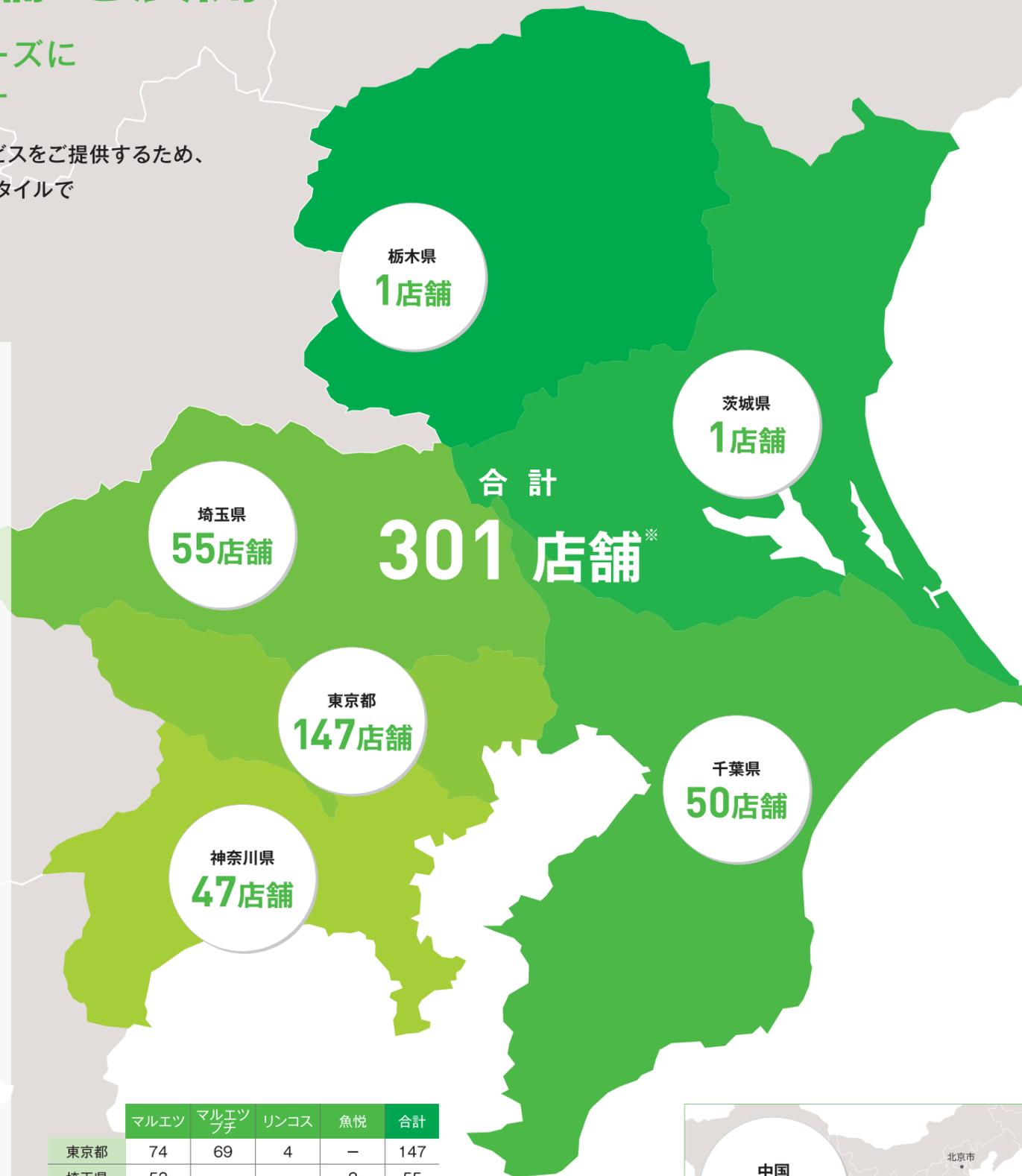
都市部で生活するお客さまに生鮮食品をはじめ、できたての惣菜やサービスをお届けする都市型スーパーマーケット。約40坪から150坪の売場で、普段の生活に必要な商品を取り揃えています。



「リンコス」はハイクオリティな品揃えとサービス機能を取り揃え、お客さまのより高いニーズにお応えする高品質スーパーマーケットです。



日本の「おもてなしの心」による接客で、快適で新しいライフスタイルを提供する高品質スーパーマーケットとして、「リンコス」を中国江蘇省無錫市に2店舗展開しています。



	マルエツ	マルエツ プチ	リンコス	魚悦	合計
東京都	74	69	4	—	147
埼玉県	53	—	—	2	55
千葉県	48	1	1	—	50
神奈川県	43	3	1	—	47
茨城県	1	—	—	—	1
栃木県	1	—	—	—	1
合計	220	73	6	2	301

※2020年4月末日現在



中国江蘇省無錫市(むしゃくし)に「リンコス」を2店舗展開しています。

# U.S.M.Holdings

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス

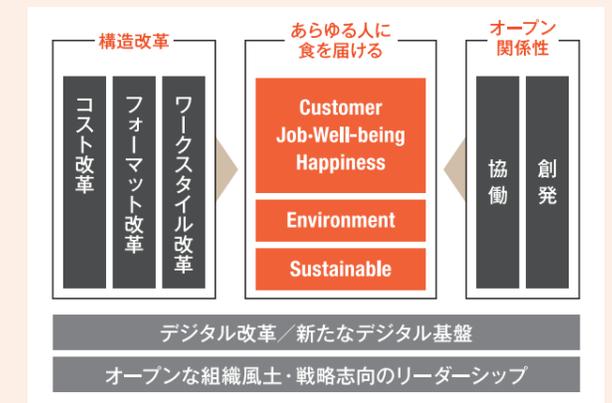


ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社(以下、U.S.M.Holdings)は、2015年3月に株式会社マルエツ、株式会社カスミ、マックスバリュ関東株式会社の経営統合により、共同持株会社として設立されました。

技術革新や環境変化が進み、お客さまのライフスタイル、価値観が大きく変化する中、新たな成長モデルへの転換のために、2020年度より第2次中期経営計画に取り組んでおります。お客さまの変化をとらえて次代の成長をめざし、また持続可能な社会の実現や環境保護に貢献するために、コスト改革、フォーマット改革、ワークスタイル改革に取り組み、その改革を確実に実行するために、新たなデジタル基盤を構築してまいります。

## 第2次中期経営計画概要

基本方針 デジタルを基盤とした構造改革を推進し、次代の礎を築く「あらゆる人に食を届ける」をめざして、協働と創発をくりかえす



## ■会社概要

社名/ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社  
 代表者/代表取締役社長 藤田 元宏  
 本社/東京都千代田区神田相生町1番地  
 設立/2015年3月2日  
 資本金/100億円  
 事業内容/スーパーマーケット事業の管理

## ■グループ店舗数

グループ合計 522店舗



## ■グループ営業収益

	店舗数	営業収益
株式会社マルエツ	301店舗	3,783億円
株式会社カスミ	189店舗	2,698億円
マックスバリュ関東株式会社	32店舗	438億円
累計	522店舗	6,916億円

※店舗数は2020年4月末日現在 ※営業収益は2020年2月期連結決算数値

# 笑顔と活気あふれる店づくりで お客さまの健康で豊かな食生活に 貢献します

入社後は、まず店舗に配属されます。店舗は、地域のお客さまの生活を支えるとともに、お客さまとつながる唯一の場所です。新鮮で安全・安心な商品をお客さまにお届けし、快適にお買い物を楽しんでいただける売場づくりを進めることで、魅力あるお店を目指します。



## フレッシュデリカライン

### ミート

ブロックのお肉を機械や包丁で、焼肉用などの用途別に加工・パック詰めし、売場に並べます。ハムやソーセージなどの加工品も扱います。



### プロデュース

果実や野菜をカットや袋詰めにして品出しします。季節の果実や野菜をその時の旬に合わせて売り込みます。鮮度チェックも大事な仕事です。

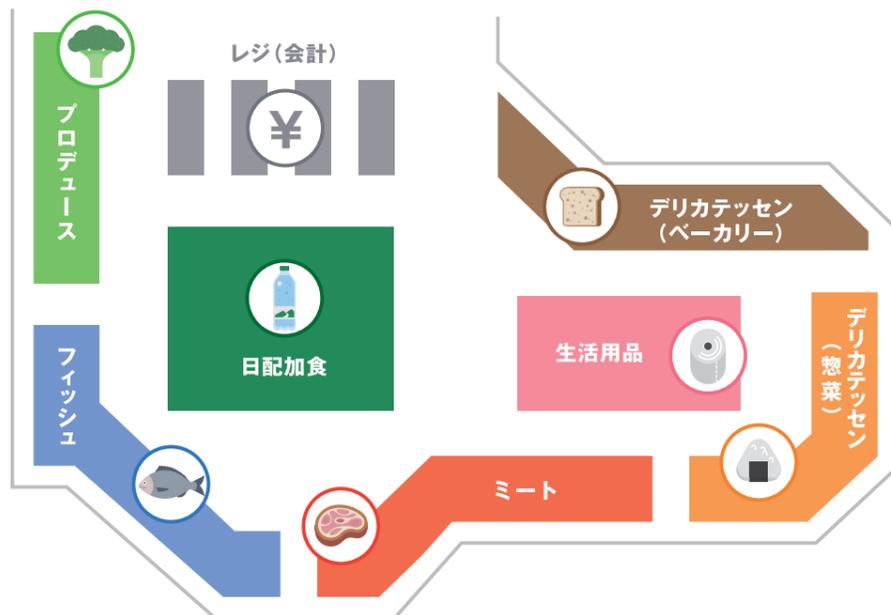


### フィッシュ

鮮度抜群のお魚を、お刺身や、切身など用途別に加工・パック詰めし売場に並べます。お客さまから三枚おろしなどの対応をお願いされる場合もあり、腕の見せ所です。



## ■ マルエツの売場 (一例)



### デリカテッセン (惣菜)

店内で調理したできたてのお弁当や揚げもの、おかず、お寿司などを売場に並べます。時間帯に合わせた品揃えで、忙しいお客さまの食卓の一品に貢献します。



### デリカテッセン (ベーカリー)

店内加工にて、生地を成型し、焼き上げます。食パンや調理パン、菓子パンなど種類豊富な焼き立てパンを品揃えています。

## グリーティング

「グリーティング」とは、挨拶、歓迎の意味で、レジ担当者を「グリーター」と呼んでいます。レジ業務を中心に、接客のプロとして最高の笑顔と「おもてなしの心」でお客さまをお迎えします。



## グロサリーライン



### 生活用品 (衣料・雑貨)

日用品や消耗品、文具から、洋服・肌着など毎日の暮らしを支える食品以外の商品を扱います。



## 日配加食

調味料やお菓子、レトルト食品等の加工食品や冷凍食品、乳製品、チルド飲料等の日配食品の品出しや売場づくりを行います。お店の売上高の約半分を占めています。



# 日々の生活をサポートする情報を積極的に発信し 地域のお客さまとの絆づくりをすすめます

売場づくりだけでなく様々な取り組みで、お客さまとのつながりを深め、地域一番店を目指します。

## マルエツカード

2019年9月に、マルエツのお買い物がさらにお得に便利になる、電子マネー「WAON」一体型のクレジットカード「マルエツカード」が誕生！また、電子マネー「WAON」の全店導入や、スマホ決済への対応など、お客さまが快適にお買い物ができる環境づくりに積極的に取り組んでいます。



## マルエツチラシアプリ

マルエツのお得なチラシ情報をいつでもどこでも簡単に見ることができる「マルエツチラシアプリ」。さらにログインすると、当社のポイントカードであるTカードのポイント確認やお買い物履歴、限定のお得な情報が利用できる便利なアプリです。サービス開始よりたくさんのお客さまにご利用いただいています。



## いーとびあ

当社は、「お客さまの笑顔のある食卓」を応援するため、「食」と「暮らし」を豊かにする情報発信と実践の場として、1991年より、料理&カルチャー教室「いーとびあ」を運営しています。多数ある講座の中でも、子ども料理教室「キッズクッキング」では、累計約3,000名の子どもたちが料理や栄養知識、食卓マナーを学んでいます。当社の管理栄養士・栄養士が講師を務め食育をサポートしています。

いーとびあでは、日本栄養士会の「認定栄養ケア・ステーション」として健康セミナーや栄養相談を行い、地域の皆さまの健康をサポートさせていただき拠点としても活動しています。さらに、「マルエツ 大久保駅前店(千葉県習志野市)」では、店舗の多目的スペースを使用し、いーとびあの管理栄養士による健康セミナーや、お取引先さまとタイアップした料理教室等を随時開催しています。



いーとびあでの食育講座



管理栄養士による健康セミナー



いーとびあ(埼玉県蕨市)

## くらし方録(カタログ)

料理提案や多数のレシピ、生活情報、当社のこだわり商品など、お客さまの生活に役立つ情報を毎月ご紹介しています。創刊30周年を超え、お客さまからご好評をいただいています。



## 店長への直行便

1996年より全店に設置して以来、お客さまからいただいた貴重なご意見、ご要望には3日以内に店長よりお返事しています。お客さまからのご意見を全社で共有化し経営に活かしています。



## 商品知識検定

所属部門に関わらず、全従業員が店舗で扱う商品の様々な知識を習得し、お客さまのお買い物のお手伝いができるよう、定期的商品知識検定を実施しています。より多くの商品知識を身につけ、お客さまに直接説明することで、ファンづくりにつなげています。



## キッチンいーとびあ

旬の素材や栄養バランス、毎日の献立づくりに役立つ料理メニューやレシピを紹介する「キッチンいーとびあ」を16店舗に設置。売場にある素材を使い、お客さまに直接おすすめすることでお客さまとのコミュニケーションづくりに活かしています。



## サービス介助士

ご高齢の方や障がいのある方のお買い物を手伝う際の「おもてなしの心」と「介助技術」を学び、全てのお客さまに安心してお買い物をしていただくために、当社では「サービス介助士」の資格取得に積極的に取り組んでいます。現在1,000名を超える資格取得者が各店舗で活躍しています。

※「サービス介助士」は公益財団法人 日本ケアフィット共育機構が認定する資格です。



# 安全・安心な商品を効率的に配送 することで 高鮮度・高品質な商品を豊富に展開しています

マルエツ独自の物流体制で、さらなる高鮮度商品の充実と店舗作業の一層の効率化を図るとともに、お客さまの「笑顔のある食卓」につながる商品をご提案しています。



およそ300店舗を支える当社の物流・生鮮加工センターは2つの常温物流センターと、生鮮加工・低温商品を扱う2つの低温センター、小型店物流センターを配置し、効率的な配送網を構築しています。また、センターへの納品から、鮮魚・精肉の加工、店舗への納品まで一貫した低温物流体制(コールドチェーン)を確立し、高品質で新鮮な生鮮食品を各店舗に届けています。都心店を中心に焼きたてパンやできたてのお弁当を供給する、ベーカリー・デリカセンターと合わせ、豊富な品揃えで差別化を図っています。



## 開発商品

おいさを追求し、様々な地域の食文化や地域に根ざした逸品に焦点をあて、お客さまに新しい価値をご提案することをコンセプトとしたU.S.M.Holdingsのプライベートブランド商品「eatime」(イータイム)や、生活必需品を中心にお買得価格でご提供する「おいしい・うれしいシリーズ」など、お客さまの豊かな食卓につながる商品を開発、ご提案しています。

**eatime**  
THE U.S.M.H QUALITY



U.S.M.Holdingsグループで商品開発ミーティングを実施

## マルエツでしか買えない オリジナルの生鮮・デリカ商品

当社では、食品スーパーマーケットとして魅力的な商品をお届けするための商品づくりを推進しています。特に、ミートやフィッシュで販売している生鮮素材を活用し、できたてのお弁当や煮つけ、揚げたてのフライなどを販売する「お肉屋さんのお惣菜」「お魚屋さんのお惣菜」や、フィッシュで仕入れた旬の生ネタを使用した「お魚屋さんのお寿司」、人気のお惣菜商品を使用したサンドイッチなど、マルエツでしか味わえない商品がたくさんあります。



◀当社人気商品をはさんだバーガー

## 「ISO22000」の認証取得

川崎、三郷両複合センターは、食品安全マネジメントシステムの国際規格である「ISO22000」(あいえずおーにまんにせん)の認証を取得しています。「ISO22000」は生産・流通・販売のすべての工程で品質管理を行うことで食の安全を守ります。



## 放射性物質の自主検査

2011年より生鮮食品とプライベートブランド商品のサンプリング検査を実施しています。2012年より、国が定める基準値が改定されたことを受け、当社でも自主基準値を新たに設定し、その検査結果をホームページで公表しています。



# 生き生きとやりがいを持って取り組める教育体制で キャリア形成をサポートしています

マルエツの人材育成は「お客さまが今、何を必要としているのか」  
「自分はお客さまのために何ができるのか」を感じ、考えることから始まります。  
様々な研修を通し、自ら考え行動できる人材の育成に努めています。

入社後すぐに、オリエンテーション研修を行い、その後、スーパーマーケットの基礎知識を習得する研修を行います。教育センターでのOff-JT(オフ・ザ・ジョブ・トレーニング)を中心に加工技術・販売計画などを学ぶ集合研修や、人事労務などを学ぶ全体研修と様々なカリキュラムが用意されています。

マルエツなら多くの方と様々なお仕事に関われるのではないかと思います。今は尊敬するマネジャーを目標に、お客さまにご満足いただけるお店づくりを目指し、日々の業務に励んでいます。



各職位別に研修のプログラムが用意されています。新入社員から一般まではマネジャーの代行業務ができるよう、実務に直結したテクニカルスキルを学びます。

上位の職位にステップアップした後は、新任のマネジャー・営業マネジャー・店長代行・店長・課長など、それぞれの実務を遂行するための研修制度が用意されています。上位職になればなるほど、より高い実務レベルの教育とともに、マネジメントスキルを身につけていきます。



将来の幹部育成を目的とし、ロジカルシンキングやマーケティング・財務分析等自ら進んで学ぶためのプログラムも設けられています。



一般～マネジャー代行

マネジャー  
営業マネジャー

店長代行  
MD(マーチャンダイザー)  
インストラクター・フィールドマン

店長  
課長

部長

入社

新入社員教育

年齢(目安)  
[社内資格] 22歳 [J]

23歳～ [L]

27歳～ [S1]

29歳～ [S2]

31歳～ [M]

39歳～ [M]



	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	(月)
テクニカル教育	所属売場基礎知識												
	配属店舗実務教育												
マネジメント教育	人事労務												
	販売計画												
資格取得社内試験	L資格昇格試験												
	技能検定												
	・規則規定												
	・人事労務												
	・予算管理												

	22歳 [J]	23歳～ [L]	27歳～ [S1]	29歳～ [S2]	31歳～ [M]	39歳～ [M]
職位別研修	年次フォロー研修	店舗管理職アセスメント	M昇格アセスメント	M昇格者研修	国内・海外流通視察	コーネル大学 流通未来大学校
		新任マネジャー研修	管理業務習得研修	新任店長研修	U.S.M.H戦略リーダー育成研修	
自己啓発等		専門職の育成	昇格者研修			
			公的資格取得研修			
		商品知識検定				



## 2～5年次フォロー研修

入社2年目以降は、入社年次に応じた研修を実施しています。各所属売場毎に実施する専門知識・技術の習得だけでなく、集合研修では、会社の現状やビジネススキルなども習得します。



## 産地研修

店舗で販売している野菜や果物が、どのような工程で大切に栽培され、収穫、出荷されているのかを、実際の産地で体験実習を通して学んでいます。また、鮮魚の市場視察や、お米の収穫体験など様々な研修が行われています。



## U.S.M.Holdingsグループで合同研修を実施しています

### ■ストアコンパリソン学習会

グループ各社の店舗運営の手法や良い取り組み等を学び、グループ従業員同士の交流を深めることを目的に、売場マネジャークラスが集まり実施しています。普段見ることのできない、各社の施策に触れ、気づき・学び・モチベーションアップを図っています。



### ■戦略リーダー育成プログラム

スーパーマーケットのリーダー企業としての志を持ち、環境変化に適応した戦略を構築・実践できる人材や、グループ企業間の交流を通して、革新と挑戦を続ける人材を育成するため、店長・課長職を対象に約1年をかけて研修を行っています。



# なりたい自分を目指せる場が、ここに 있습니다

自分らしく、生き生きと毎日を過ごしながら、なりたい自分を目指す。お客さまの、そして自分自身の「しあわせ」を一緒に見つけませんか。

まわりの社員やパートナーさんに恵まれた働きやすい職場です!

一般

渡邊 育海 2017年入社

プロデュース担当

プロデュースは力仕事もありますが、扱う商品が豊富でやりがいがある仕事です。商品仕分けや陳列方法を覚えながら、1年目から少しずつ発注業務も経験させてもらっています。話題の野菜や新しいフルーツの知識、天候による売れ方の違いを学び、それを接客や売場づくりに活かして、楽しく仕事をしています。女性のプロデュースマネージャーも増えているので、私もマネージャーを目指したい! 女性ならではの視点を活かしていきたいです。

8:00	10:00	12:00	13:00	17:00
出社、開店準備 (荷受け、品出し、売場づくり、発注等)	開店	休憩	事務作業、売場作業	退社



食の情報発信や新商品の開発など広い視野が必要な仕事です

MD  
(マーチャン  
ダイザー)

両角 拓也 2004年入社

日配加工担当 > マネージャー > MD

カレーやスープなど調味料担当として仕入れる商品を決めるほか、自分なりのコンセプトで新しい商品を開発する仕事を担当しています。日々、数多くのお取引先さまと接する中から、自分なりに情報をピックアップして各店舗に発信し、売上アップを図るのも重要な役割。自分が「売れる」と思った商品の販売促進プランを練るのもこの仕事の醍醐味です。お客さまの「美味しかった」の声は励みになりますね。

9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00	18:00
出社、数値状況確認、販売計画等資料作成	休憩	部内ミーティング	資料作成	商談のため外出	競合・自社店舗調査	退社



マネージャー

みんなに助けをもらいながら3年目にマネージャーになりました

守屋 柚香 2015年入社

ベーカリー担当 > マネージャー

「自分が作ったものでお客さまを笑顔にしたい!」そう思って、入社当初からベーカリーを希望し、1年目は技術を、2年目はマネージャー業務を学びました。3年目にマネージャーになり責任は重くなりましたが、どんな売場を作ろうとか、パンの焼き色などを自分で決められるのでとてもやりがいがあります。今は、まわりのみんなに助けをもらっています。いつかは大型店の「頼れるマネージャー」になりたいです。

8:00	10:00	12:00	13:00	17:00
出社、開店準備	開店	休憩	事務作業 (勤務管理、作業工程表・ポップ作成等)	退社



本社  
管理職

すべての従業員が自分らしく柔軟に働ける会社に

飯島 幸恵 1994年入社

グリーティング担当 > マネージャー > トレーナー > 女性活躍推進室長

女性活躍推進室では、意欲的な女性従業員が更に「自分らしく生き生きと輝きながら働き続けられる」環境づくりを推進しています。女性管理職登用にに向けた取り組みのほか、若手社員を対象に【キャリアデザイン】セミナーや働くお母さんを対象とした【子育てと働き方の両面を考える】セミナーなどを開催しています。また、妊娠中の女性が安心して安全に勤務を続けられるよう「マタニティ面談シート」を作成・導入しています。妊娠～育児休業を経て復職するまでのサポートを通じ、従業員の皆さんが様々なライフイベントを迎えたとしても「働きやすい」環境整備を行っています。

9:00	12:00	13:00	18:00
出社、メールチェック、社内業務	休憩	社内業務 (会議、資料作成等)	退社



いろいろな部署で培った人とのつながりが財産です

店長

滝口 知宏 2001年入社

プロデュース担当 > マネージャー > 店長代行 > 本社スタッフ > 店長

店長は店舗運営を任されているので、お客さまのニーズや本社の施策を調整しながら運営方針を決め、実行しなければなりません。やりがいがある反面、たいへんな仕事ですが、様々な部署で培った人とのつながりに助けられることもしばしば。「面倒な仕事は進んでやる」と自分に課してきたことが役立っていると思います。これからは未来のスーパーマーケットのために、何ができるのかを考えていきたいですね。

8:00	9:00	13:00	14:00	15:00	17:00
出社、開店準備 (数値状況、メール確認、商品補充等)	開店 (勤務状況、荷受け、販売計画確認等)	金銭管理 業務	休憩	事務作業 タイムセール準備	値引き作業 確認、退社



日本の食品スーパーマーケット文化を中国へ根付かせるのが使命です

中国事業  
担当

津田 和弥 1998年入社

フィッシュ担当 > マネージャー > MD > トレーナー > 課長 > 中国事業担当

マネージャーという販売側の立場、MDでは商品側の立場、それらをつなぐトレーニング部を経て、中国で日本の食品スーパーマーケット文化を浸透させるために日々奮闘中です。店長や担当者は中国人ですが、国や言葉が違ってもコミュニケーションが大事なことに変わりはありません。同じ目線に立って苦勞を共有することで一体となれる。そんな皆さんと日々、楽しく新しい売場づくりに取り組んでいます。

9:00	12:00	13:00	18:00	19:00
出社 (会議、事務作業、店舗巡回等)	休憩	会議、事務作業、 店舗巡回	退社	中国人従業員と親睦を兼ねて 食事をすることも



# 誰もが活躍できる、 働きがいのある職場づくりを推進 しています

多様な人材を活かし、個人の持つ能力を最大限に発揮できる  
職場環境を目指します。



## 女性活躍の推進

女性活躍推進室では、女性はもちろんのこと全ての従業員がさらに活躍できる会社を目指して職場環境や働き方の改善などに取り組んでいます。当社の未来を担う若手社員の向上心や意欲を養う場として【きらめき未来セミナー】の開催や、子育てをしている母親が集まり、仕事と子育ての両方を考える場として【ライフプランセミナー】も開催しています。店長を含め、女性管理職の登用も積極的に推進し、2018年には厚生労働大臣認定『えるぼし』認定の2段階目を取得しています。2019年度2月末現在、23名の女性管理職(女性管理職比率5.7%)が活躍しています。



## 様々な国の方が活躍

当社では正社員を含め、約1,000名の外国の方々各店舗・センターで活躍しています。さらに2018年よりベトナムからの技能実習生を受け入れ、2020年2月末時点で42名が店舗の惣菜売場や子会社の株式会社マルエツフレッシュフーズで活躍しています。今後も、マルエツグループ全体で外国人の採用を積極的に推進していきます。



## 生き生きと働ける職場環境

シニアになっても引き続き、今までの経験が活かせる雇用制度を活用して、たくさんの方が生き生きと活躍し、それが技術の伝承や若手社員の育成にもつながっています。子会社の「株式会社アスビスサポート」では、シニア世代も含め、即戦力となる人材の派遣を積極的に行っています。



## 障がい者雇用の推進

当社では、特例子会社「株式会社マール」を通して障がい者の雇用に積極的に推進しており、2020年2月末時点での障がい者雇用率は3.02%となっています。さらに、ジョブコーチを配置し、障がい者が円滑に業務を行えるよう支援しています。事務代行や店舗での商品陳列など、様々な場面で活躍の場を広げています。



## 救命技能認定者を店舗に配置

お客さまの急な店内事故や体調不良の際、慌てず落ち着いて適切な初期対応ができるよう、消防本部・消防署で実施される「普通救命講習」に積極的に参加しています。当社の救命技能認定者は、店管理職を中心に累計1,000名を突破。この取り組みが評価され、2019年9月に豊島消防署から推進団体であるとして感謝状が贈呈されました。



## 子育て支援

男女を問わず子育てと仕事を両立しながら働き続けられる人事制度があります。「育児時短勤務制度」は、子どもが小学校を卒業するまでの間、1日の勤務時間を1~3時間短縮して働くことができる制度です。年々利用者も増加し、たくさんの従業員が活躍の場を広げています。子育て支援制度を通して、より幅広いフィールドで生き生きと働き続けられる環境づくりを推進しています。



子育て支援制度を利用し、現在女性管理職として活躍中

### 主な子育て支援制度

- ・妊娠中の時短勤務
- ・産前・産後休暇
- ・育児休職
- ・育児時短勤務

## ワークライフバランス

従業員がやりがいや意欲を持って働き続けるためには「仕事」と「私生活」の調和が欠かせません。当社では、連続休日の取得やリフレッシュ休暇制度、さらに、病気やケガの治療、ご家族の介護による休暇など、従業員一人ひとりのライフスタイルに合わせて働き方が選択できる制度を整え、仕事と私生活の充実に取り組んでいます。



グループ会社の従業員とマラソン大会に参加する店長

### 主な制度

- ・半日有給休暇
- ・有給特別休暇
- ・リフレッシュ休暇
- ・傷病・介護有給休暇
- ・介護時短制度

# 地域に根ざした社会貢献や環境保護活動に積極的に取り組んでいます

お客さまに笑顔になっていただくための商品の多くは、豊かな自然が育んでくれるもの。  
 私たちは、お客さまのため、地域のため、そして地球環境を守るために  
 様々な取り組みを続けています。

## マルエツ環境方針

マルエツは地域に密着したスーパーマーケットとして、  
 安全で安心な商品やサービスの提供とともに持続可能な循環型社会を目指し、  
 お客様と共に環境保全活動や地域の環境活動への支援を推進します。

1. 当社の事業活動に伴う環境負荷を最小限にするために、環境目標の設定・推進を含め、環境マネジメントシステムを運用し継続的に改善します。
  - ① 電気使用量削減等の省エネルギー・省資源を推進します。
  - ② 最終的な廃棄物を削減するために3R[リデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)]を推進します。
  - ③ 地球温暖化防止のため、1店舗あたりのCO<sub>2</sub>排出量を削減します。
  - ④ 環境に配慮した商品の普及に取り組めます。
2. 環境保護のため汚染の予防や生態系の保護に努めるとともに、環境に関する適用可能な法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
3. この方針を全従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりが主体的に環境保全活動に取り組めます。
4. この方針を社内外に公表し、積極的な情報提供に努めます。

株式会社マルエツ  
 代表取締役社長  
 古瀬 良多

## 「ISO14001」の取り組みを推進

当社では、環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格である「ISO14001」(あいえずおーいちまんよんせんいち)の認証を、2006年9月に本社及び5店舗において取得し、現在の認証事業所数は、297事業所(本社含む)となっています。この「ISO14001」のEMSに則り、環境方針に掲げるCO<sub>2</sub>排出量の削減等を目的とし、マルエツの業務において特に環境影響の大きい電気使用量の削減、レジ袋辞退率の向上等を2020年度の環境目標として取り組んでいます。



## 「マルエツの森」森林保全ボランティア活動



2010年より、温室効果ガス削減の施策のひとつとして「武蔵野の森再生事業」に参加しています。これは、埼玉県が森林・保全事業として新設した事業で、病害虫の被害が発生した平地や丘陵地のスギ林を対象として、スギを伐採し、地域やボランティアの方々との協働で落葉広葉樹を植栽することにより、武蔵野の雑木林を再生する取り組みです。埼玉県日高市横手にある林地を「マルエツの森」の愛称と呼び、2010年4月に山桜、かえで、くぬぎ等を従業員の手により植樹。その後も保全活動として、毎年従業員ボランティアが下草刈りを実施しています。

## 「カーボン・オフセット」の取り組み

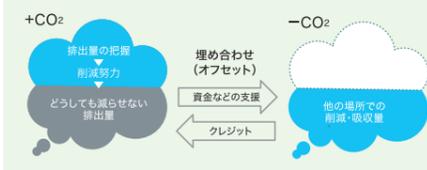
当社では、レジ袋製造の際に排出されるCO<sub>2</sub>を、被災3県(岩手県、宮城県、福島県)の森林保全活動によって吸収されるCO<sub>2</sub>のクレジットを購入してオフセットする「カーボン・オフセット」の取り組みを2014年より実施し、2019年度までに合計1,590t-CO<sub>2</sub>(16,448千円)をオフセットしています。その購入費用は、店頭回収された紙バックやペットボトルの売却益を活用しており、お客さまとともに被災地域の環境保全活動、地域活性化を支援する仕組みとなっています。この取り組みが評価され、3年連続4度目の「東北地域カーボン・オフセットグランプリ『支援賞』」を受賞しました。



2019年度  
 レジ袋辞退率 36.7%  
 削減枚数 107,781千枚

## 「カーボン・オフセット」って何?

「カーボン・オフセット」とは、企業等が自ら排出する温室効果ガスのうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)することをいいます。



## 荒川クリーンエイド

荒川クリーンエイドは、ごみを拾いながら、河川ごみや水質、自然回復などの問題を考え、豊かな自然を取り戻そうとする活動です。当社では環境教育の一環として、さらに、役割分担と他者への働きかけを学ぶ目的で、新入社員全員が参加しています。



## 環境保全活動の充実に向けて

当社では、使い捨てプラスチック及びCO<sub>2</sub>削減による環境保全に積極的に取り組むため、2020年4月1日(水)から全店でレジ袋の有料化をスタートしました。「環境に優しい社会」の実現を、お客さまとともに取り組んでおります。また、寄付等を通じて、「環境保全」等に対する支援活動をより一層充実させてまいります。

<新たな寄付先>

### 「一般社団法人JEAN」

JEANは海洋ごみ問題を解決してごみのない健やかできれいな海を未来に残すために、1990年から活動を続けている非営利の環境NGO。「美しい海をこどもたちへ」。当社は、寄付を通じてJEANの環境保全活動にお役立ていただいています。

### 「公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン」(WWFジャパン)

当社では、2020年4月1日より、WWFジャパンの法人会員として、WWFの環境保全活動を応援しています。WWFは、100か国以上で活動している環境保全団体です。そのプロジェクトは会費や寄付等の支援金で支えられています。

## リサイクル活動を推進

再生可能資源の回収を推進するため、店頭で食品トレイや紙パックなどのリサイクルボックスを設置しています。紙パックについては、一部店舗でアルミ蒸着加工の紙パック製品も回収対象としているのが特徴です。



### 地域社会と協力してリサイクルを推進



#### 店頭で回収した資源のリサイクル

貴重な資源の再利用は、資源やエネルギーの節約、CO<sub>2</sub>排出量削減など地球温暖化防止につながっていきます。当社では、店頭で食品トレイ、紙パックなどの回収ボックスを設置し、リサイクル活動を推進しております。



#### お店からの廃棄物をリサイクル

店舗から発生する食品廃棄物の抑制と減量化を一層強化し、循環型社会の実現に貢献するため、廃棄物のリサイクル化も進めています。



※2018年度実績

## 廃棄物の「見える化」で従業員の削減意識を向上

従業員一人ひとりが地球環境保全への高い意識を持つと同時に、その意識向上のための様々な取り組みを行っています。事業で排出される廃棄物についても分別を行うことはもちろん、排出量の削減意識を高める取り組みが進められています。廃棄物排出量削減のための第一歩は、どんなゴミを、どれだけ排出しているかについて把握することです。そこで、廃棄物計量管理システムをマルエツ屋号店舗を中心に導入し、廃棄物排出量の「見える化」促進に取り組んでいます。自分が計量し、排出量が数値化されることで、従業員一人ひとりの「削減しよう」という意欲を高め、廃棄物の削減に努めています。



店舗で計量されたデータはオンラインで管理

## 盲導犬育成事業を支援

現在、日本には約3,000名の目の不自由な方々が「盲導犬と歩きたい」と希望されているのに対し、日本全国で活躍している盲導犬は約1,000頭しかいない状況です。当社では、この状況を少しでも改善すべく1993年から「盲導犬育成募金活動」を実施し、お預かりした募金は公益財団法人日本盲導犬協会へ寄付しています。お客さまのご協力のもと26年間継続し、2019年8月末時点で累計募金額が3億円に達しました。今後も盲導犬ユーザーの方々を含め、ご来店される全てのお客さまに気持ちよく買い物をしていただける店づくりを目指します。



岩槻駅前店の「盲導犬ふれあいキャンペーン」



写真提供:日本盲導犬協会

### 盲導犬訓練センター見学会実施

募金活動以外でも、目の不自由な方々に対する理解促進を図るため、当社をご利用のお客さま向けに日本盲導犬協会神奈川訓練センターの見学会を毎年実施しています。2019年度は35名(お子さま16名)をご招待し、アイマスクをつけて盲導犬と歩く体験歩行や点字作成を体験していただくなど、目の不自由な方が日常生活で困っていることを体験していただきました。また、盲導犬を伴って来店されるお客さまが気持ちよくお買い物をしていただけるよう、従業員への社内研修も行っています。



神奈川訓練センターでの体験歩行

## 寄付活動

当社では、地域貢献、社会貢献や、将来を見据えた環境保全を推進するため、寄付活動にも積極的に取り組んでいます。2014年に「ニホンウナギ」が絶滅危惧IB類に指定されたことを受け、ウナギ資源保護活動への支援も行っています。



飲料自販機売上金1%寄付の目録贈呈式

内容	期間	寄付金額	寄託先
盲導犬育成募金寄付	2019年3月~2020年2月の店頭募金額	12,463,560円	公益財団法人日本盲導犬協会
飲料自動販売機売上金1%寄付	2018年3月~2019年2月の飲料自販機の売上金1%相当額	3,300,000円	各地域の福祉協議会
ペットボトルキャップ回収売却益寄付	2018年3月~2019年2月回収分の売却益	1,163,005円	認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)
ウナギ資源保護活動寄付	2019年7月23日~27日に販売したウナギ製品の売上金から1点につき10円を拠出	1,848,570円	鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会
「令和元年台風15号、19号等」緊急支援募金寄付	2019年9月15日~2019年11月17日までの店頭募金額	2,580,941円	被災各県

※環境会計等は、2020年8月末までに当社ホームページ「環境・社会貢献」に掲載する予定です。

## 沿革

1945	魚悦商店を埼玉県浦和市(現・さいたま市)にて創業
1952	有限会社魚悦商店設立
1959	有限会社丸悦ストアーに商号変更
1965	セルフサービスの食品スーパーマーケット1号店「大宮店」開店
1970	東京都に進出／株式会社丸悦ストアーに組織変更
1974	株式会社マルエツに商号変更
1975	埼玉県大宮市(現・さいたま市)に、大宮物流センターを開設
1976	千葉県に進出
1977	食品スーパーマーケットで初めて東京証券取引所市場第二部に上場
1978	株式会社プリマートと合併し、首都圏で100店舗を超える
1979	消費者モニター制度導入
1981	サンデーマート株式会社の株式取得 株式会社サンコーと合併
1984	東京・大阪両証券取引所市場第一部へ指定替え
1986	POSシステム導入開始
1989	本社を東京都豊島区東池袋に移転
1991	健康と食文化実践室「いーとびあ」開設
1993	盲導犬育成募金開始
1995	緑化資金導入
1996	お客さまの声を反映する「店長への直行便」導入
1999	平成11年度「消費者志向優良企業通商産業大臣表彰」受賞
2000	平成12年度 障害者雇用優良事業所及び優秀勤労者表彰式において「労働大臣表彰」受賞
2001	株式会社すえひろと業務・資本提携
2002	株式会社ポロロッカ株式取得 株式会社日本流通未来教育センター設立 マルエツ200店舗達成
2003	サンデーマート株式会社と株式会社すえひろが合併
2004	盲導犬育成募金累計1億円突破
2005	第4回「東京都グリーンコンシューマー奨励賞」受賞
2006	新経営理念制定／ISO14001認証取得(本社および5店舗)

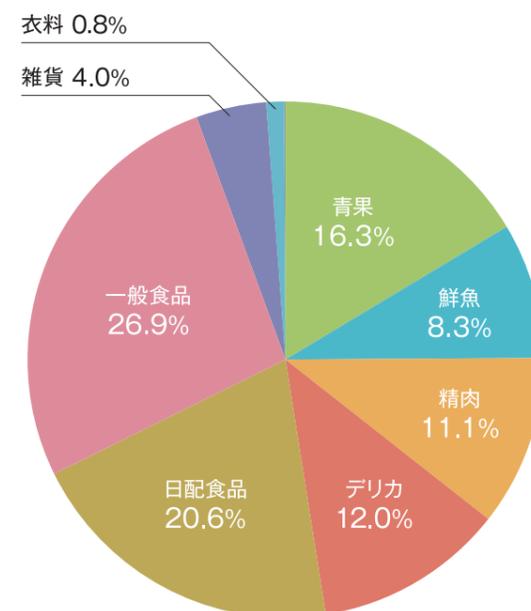
2007	新シンボルマーク、ブランド理念を制定 イオン株式会社、丸紅株式会社と業務提携 サンデーマート株式会社・株式会社ポロロッカと合併
2009	株主優待制度新設／ISO14001認証取得(本社及び全店) 厚生労働省「障害者雇用優良企業」認証取得
2010	マルエツ・マルエツ ブチ・リンコスの3つに店舗屋号を統合 常温物流センター開設(横浜・八潮) 川崎複合センター開設
2011	マルエツ ブチ50店舗達成 東日本大震災被災地復興に向けた支援の取り組み
2012	盲導犬育成募金累計2億円突破 三郷複合センター開設 中国出店に向けて蘇寧電器股有限公司と合併会社を設立
2013	ISO22000認証取得(川崎・三郷複合センター) 水産庁「魚の国のしあわせ大賞」実証事業部門最優秀賞受賞 中国1号店となる「リンコス無錫蘇寧プラザ店」開店
2014	「首都圏におけるスーパーマーケット連合」の創設に関する合意(基本合意書締結) 中国2号店「リンコス無錫海岸路店」開店 「ウナギ資源保護活動」への支援開始 東京証券取引所市場第一部を上場廃止
2015	株式会社マルエツ、株式会社カスミ、マックスバリュ関東株式会社が経営統合し、共同持株会社「ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社」を設立 同社は、東京証券取引所市場第一部に上場 「第5回カーボン・オフセット大賞」奨励賞受賞 「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」支援賞受賞
2016	東和ペーカリー・デリカセンター開設
2017	株式会社アスピズサポート設立 「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」東北支援賞2度目の受賞
2018	女性活躍推進法「えるぼし」の2段階目を取得 「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」東北支援賞2年連続3度目の受賞
2019	盲導犬育成募金累計3億円突破 マルエツカード発行 「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」東北支援賞3年連続4度目の受賞

## 会社概要

会社名	株式会社 マルエツ
本社所在地	〒170-8401 東京都豊島区東池袋5-51-12
代表電話番号	03-3590-1110
代表者	代表取締役会長 上田 真 代表取締役社長 古瀬 良多
創業	1945年(昭和20年)10月
設立	1952年(昭和27年)6月16日
資本金	1億円
営業収益(連結)	378,305百万円
店舗数	301店舗(2020年4月末日現在)
従業員数(連結)	16,270名 パートタイマー12,055名を含む (1日8時間換算による期中平均人員)
事業内容	食品スーパーマーケット事業

※特記がない場合は2020年2月末日現在のデータです。

商品別売上高構成比(単体) 2019年度



## グループ企業

<b>株式会社マルエツ開発</b>
所在地 東京都豊島区東池袋5-51-12
設立年月 1989年4月
代表者 代表取締役社長 川田 猛敏
事業内容 不動産管理、店舗・ショッピングセンター開発業務

<b>株式会社マルエツフレッシュフーズ</b>
所在地 東京都豊島区東池袋5-51-12
設立年月 2010年4月
代表者 代表取締役社長 安田 良夫
事業内容 生鮮加工センターにおける食料品の製造、加工業務

<b>株式会社マーノ</b>
所在地 東京都豊島区東池袋5-51-12
設立年月 1992年3月
代表者 代表取締役社長 福田 保
事業内容 業務受託事業、事務サービスの代行を行う特例子会社

<b>株式会社アスピズサポート</b>
所在地 東京都豊島区東池袋5-51-12
設立年月 2017年3月
代表者 代表取締役社長 渡邊 昌夫
事業内容 労働者派遣事業、業務受託事業

<b>株式会社食品品質管理センター</b>
所在地 東京都豊島区東池袋5-51-12
設立年月 2010年7月
代表者 代表取締役社長 佐々木 裕一
事業内容 食品の品質・安全・衛生検査の受託等

<b>株式会社日本流通未来教育センター</b>
所在地 埼玉県蕨市中央3-22-30
設立年月 2002年10月
代表者 代表取締役社長 中村 孝
事業内容 スーパーマーケットに特化した教育事業

<b>丸悦(香港)有限公司</b>
所在地 中国 香港
設立年月 2012年8月
董事長総経理 石井 英雅
事業内容 中国において小売業を営む 「丸悦(無錫)商貿有限公司」の持株会社

<b>丸悦(無錫)商貿有限公司</b>
所在地 中国 江蘇省無錫市
設立年月 2013年1月
董事長総経理 石井 英雅
事業内容 中国における小売業(スーパーマーケット)の経営